

授業科目	看護学				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NT11106J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP5-1			
担当教員	財津 倫子、石井 美紀代、井手 裕子、吉原 悦子、中原 智美、安藤 愛、樋口 由貴子							
授業概要	<p>本講義では、看護の歴史と代表的な看護理論、看護のとらえ方や看護の定義について解説する。さらに生活者としての人間の捉え方や看護援助の目的等について解説し、看護とは何かを具体的にイメージできるようにする。看護の機能として、健康障害の予防や健康の保持増進の意義と方法、健康レベルに応じた保健活動や疾病・症状別の看護を解説する。</p> <p>講義全体を通して、対象に応じた具体的な看護の方法論を提示し、保健医療チームにおける専門職種間の連携のあり方や情報共有と継続的関わりについて考える一助とする。授業はオムニバス形式とし、7名の担当教員で実施する。</p> <p>尚、この授業は遠隔授業として実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の概念について説明できる。(DP1-2)(DP2-1)</li> <li>2. 生活者としての人間の「生活」の4つの側面について説明できる。(DP1-2)(DP2-1)</li> <li>3. 健康障害の予防や健康の維持増進に向けた看護の要点について説明できる。(DP1-2)(DP2-1)(DP3-1)</li> <li>4. 多職種チームとしての継続的関わりについて説明できる。(DP2-1)(DP3-1)(DP5-1)</li> <li>5. 看護師の役割や多職種チームとしての継続的関わりについて考察し、発表することができる。(DP1-2)(DP2-1)(DP3-1)(DP5-1)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	84	16	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			21	6			27	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			21				21	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			28	5			33	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			14	5			19	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
専門職である看護師の専門職種間における役割について述べる ことができる。 継続した看護の必要性について述べる ことができる。				行動目標の1~5について理解し、 自己の考えを述べる ことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間 (分)

1	テーマ`オリエンテーションと看護学概論 (財津倫子) 看護の歴史、看護理論、看護の定義について解説する。	・シラバスを用いてオリエンテーション ・スライドにおける解説	講義内容の復習を行う。	60
2	テーマ`「生活」の4つの側面(財津倫子) 生活者としての人間について「4つの側面」から解説し、多職種チームとしての情報共有と継続的関わりについて解説する。	・スライドにおける解説	講義内容の復習を行う。	60
3	テーマ`学童期の子どもの健康と栄養(樋口由貴子) ・学童期の子どもの食物アレルギーについて解説し、対応の仕方を学ぶ。	・スライドにおける解説 ・グループワーク	講義内容の復習を行う。	60
4	テーマ:慢性疾患を持つ患者の看護(中原智美) ・慢性期・終末期におけるがん看護について解説する。	・スライドにおける解説	講義内容の復習を行う。	60
5	テーマ:慢性疾患を持つ患者の看護(井手裕子) ・生活習慣病の1例として、糖尿病患者への看護について解説する。	・スライドにおける解説	講義内容の復習を行う。	60
6	テーマ:疾病を持つ高齢者の看護(吉原悦子) ・脳血管疾患について解説する。	・スライドにおける解説	講義内容の復習を行う。	60
7	テーマ:疾病を持つ高齢者における看護(吉原悦子) ・認知症について解説する。	・スライドにおける解説	講義内容を復習する。	60
8	テーマ:精神疾患患者の看護1(安藤愛) ・せん妄発症時の看護	・スライドにおける解説	講義内容を復習する。	60
9	テーマ:精神疾患患者の看護2(安藤愛) ・発達障害への看護アプローチ	・スライドにおける解説	講義内容を復習する。	60
10	テーマ:疾病を持つ高齢者における看護(吉原悦子) ・要介護高齢者の生活を支える支援看護	・スライドにおける解説	講義内容を復習する。	60
11	テーマ:急性期疾患患者の看護1(財津倫子) ・胃がんの手術を受ける患者の看護を解説する。	・スライドにおける解説	講義内容を復習する。	60
12	テーマ:高齢者世帯の在宅看護1(石井美紀代) ・在宅療法が必要な高齢者の介護問題について、介護の社会化の視点から解説する。	・講義 ・ディスカッション	講義内容を復習する。	60
13	テーマ:高齢者世帯の在宅看護2(石井美紀代) ・高齢者の在宅療法を、看護師と栄養士を含めた多職種で支援するために必要な要素と技術を話し合う。	・講義 ・ディスカッション	講義内容を復習する。	60
14	テーマ:全体の講義のまとめ(財津倫子) 全体の講義を通して、看護師の役割や、多職種チームとしての継続的関わりについて考察する。	・発表 ・ディスカッション	講義内容を復習する。	60
15				
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能				
既習の解剖生理学、病理学、臨床生理学などで学んだことを振り返っておいてください。課題の提示があれば、提示された課題を行って講義に臨んでください。				
テキスト				
特に定めていません。必要時、資料等を配布します。				
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介				
適宜紹介します。				
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義はオムニバス形式にて各看護学領域の教員で担当します</li> <li>・第一回目の講義が栄養学科の実習と重なり、補講(土曜日に補講予定)となります。ご注意ください。その他にも、看護学科の実習の関係で講義順序を変更する可能性があります。変更については初回講義時にオリエンテーションします。</li> <li>・将来、栄養の専門職として、看護師と協同することを考えながら、学習を進めましょう。</li> <li>・対面の講義が難しい場合、meetを使用した講義となります。</li> </ul>				
達成度評価に関するコメント				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オムニバス形式の講義です。それぞれの教員が評価します。レポートを課された場合、レポートも評価対象となります。</li> <li>・レポートの提出が必要な講義においては、講義中にまとめ方について提示します。</li> <li>・課題を提出する際は、引用文献も記載してください。</li> </ul>				

